

# 補助金・交付金自己評価シート

資料番号7-1

No						担当課名	建築住宅課	
補助金の名称	湖西市住宅リフォーム支援事業補助金					担当課が事務局を行っているか。		
						①	いる	2 いない
予算事業(款・項・目)	款	8	項	5	目	3		
事業名(事業2)	住宅リフォーム支援事業							
補助金の種類	1. 団体運営費補助			2. 事業費補助			3. 建設費補助	
	1. 義務的なもの			2. 国・県の制度との連携			③ 市単独助成	
補助の始期・終期	始期 平成28 年度 ～ 終期 平成32 年度							
根拠となる法令・条例等の名称	・湖西市補助金交付規則 ・湖西市住宅リフォーム支援事業費補助金交付要綱							
補助等の目的	市民の居住環境の向上を支援することを目的として、バリアフリー化・省エネルギー化の住宅リフォーム工事を実施する者に対して補助金を交付する。							
補助金等 対象事業の内容 (箇条書き) (具体的に)	《補助金の交付対象者》 ・市内に住所を有する者又は住所を有しようとする者であること。 ・リフォームを行う住宅に居住すること。 ・補助対象者の属する世帯の全員が市税を滞納していないこと。 ・以前にこの補助金の交付を受けたことがないこと。 《補助金の交付対象住宅》 ・耐震性を有する住宅又は湖西市が行う耐震補強工事補助金の交付決定を受けた住宅であること。 《補助金の交付対象工事》 ・市内に本店、支店又は営業所を有するもの等が施工するものであること。 ・建築基準法、その他法令に違反しないものであること。							
	●バリアフリー化工事 (手すりの設置工事、段差解消工事、廊下幅の拡幅工事、出入口の引戸への改修工事、ホームエレベーターの設置工事) ●省エネルギー化工事 (内外壁の断熱改修工事、屋根・天井・床の断熱改修工事、節水トイレへの改修工事、高断熱浴槽への改修工事)							
	対象	① 個人	2. 特定の団体	3. 不特定団体	※団体の場合は、下記へ記入			
	団体名							
代表者名								
補助金等 対象経費の内容 (箇条書き) (具体的に)	補助対象経費の総額の20%以内かつ20万円以内の額。 併用住宅の場合は、自己の居住の用に供する部分の補助対象経費の総額の20%以内かつ20万円以内の額。							
期待する効果 (最終目標・終期など)	リフォームで既存住宅の居住性や安全性が向上することによる、定住化の促進や空き家対策。							
近隣市町村との比較  (静岡県内・類似団体)	静岡県が平成25年度にバリアフリー、平成26年度に省エネを実施し終了。							

単位:千円

項目		年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 予算要求額
補助・交付金	予算額		5,000	2,000	2,000	2,000
	決算額		3,364	1,974	1,464	2,000
補助対象事業費			16,820	9,870	7,320	10,000
財源内訳	国庫補助金					
	県補助金					
	自己財源		13,456	7,896	5,856	8,000
	市補助金		3,364	1,974	1,464	2,000
市補助額の割合(%)			20.0%	20.0%	20.0%	20.0%

所管課の評価(H29実績及びH30執行状況等を踏まえ評価)

評価項目	ポイント	理由・説明等(具体的に)	
補助事業の公益性 (10点)	10	人口減少や空き家の増加は社会問題となっている。事業で既存住宅を活用することにより、定住化の促進や空き家対策として、市全体の活性化に繋がる。また、市内に営業所等がある施工業者とすることにより地域経済の活性化を図る。	
補助の公平性 (5点)	5	居住環境の向上を目的として、バリアフリー化・省エネルギー化のリフォームに限定しているが、補助対象者に特段の条件を設けておらず、誰もが使い易い補助となっている。	
行政関与の必要性 (5点)	5	定住化の促進や空き家対策は行政が積極的に関与すべき問題である。	
補助の効果 (5点)	5	補助を利用して積極的な改修が図られている。	
経済性(費用対効果) (5点)	5	改修費用の20%かつ20万円以内の低額な補助であるが、制度を利用して改修が図られている。	
合計 (30点)	30	評価結果	継続する
廃止できない理由、廃止した場合の影響 新総合計画まちの姿5〇調和のとれた便利なまち111ページに掲載されており、平成28年度に新規事業としてスタートしたばかりのため。			
制度見直しの可能性、終期の考え方(廃止する前提条件や目標年度など) 平成32年度までの5年間を原則とする。			
改善事項 (監査等による指摘)			